

令和7年度第3回松山市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和7年11月27日（木）13:30～15:00

場 所：センタービル4階第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員11名、各地域包括支援センター、事務局

議 事：（1）地域ケア推進会議と地域課題について

（2）その他

（1）地域ケア推進会議と地域課題について

① 令和5年度、6年度に各地域包括支援センターが実施した地域ケア会議の報告

地域ケア会議から抽出された地域課題（主なもの）

- 地域住民の防災意識を高め、自助の必要性についての周知・啓発
- 複合的な生活課題を抱えるケースに対する支援するための体制
- 世代を超えて交流できる場により新しい層の参加を生み出す仕組みづくり

② 協議

地域の防災意識を高めるための普及啓発について

（意見）

- 防災に熱心な町内会とそうでないところと温度差が大きい。
- 日頃から地域と連携を図るために、双方の会議に出席したり、避難訓練や防災訓練の手伝いをしたりなど日頃から顔の見える関係を作っている。
- 地域で孤立している人たちに災害の意識を持ってもらうにはどうしたらいいかということを考えていかないといけない。
- 自主防災組織の会長、町内会長、区長など、どの立場が主となって動くのかわかつていよいという状況も見られる。
- 災害時の情報共有について、安否確認を丁寧かつ迅速に効率的に行いたいが、現状では1人に対して何人もの組織、人が安否確認を取ってしまいかねない。どこの誰がリーダーシップをとるか明確であることが、災害が起ったときに地域が強く連携をして情報共有できるのではないか。圏域ケア会議でも共有していきたい。
- ポイントは無関心層をどうやって関心層に繋いでいくかというところではないか。そこがうまくいけば他の課題についても全てがうまくいきそうな気がする。
- 災害が発生した時は、まずは自分の命を守る、家族の命を守る。その後、災害関連死が起こらないような取り組みを地域で行っていく。いろいろな団体と助け合いながら、関連死をさせないことをやっていきたいと思う。
- 防災意識に関して、偏った負担がかからないためには、1人1人が防災に対する意識を高く持つということが繋がると思う。

- 災害リスクがどんどん高まっている中で 1 人 1 人が災害リスクの高まりを正しく認識しながら、個人、家庭、地域、企業、団体などが日常的に防災に関するいろんな活動、取り組みを息長く続けていくところが、防災意識の高まりにも繋がっていくのではないか。
- ここ集まっている委員のそれぞれが、所属先の機関団体等でも防災意識の高まりについての取り組みも、テーマとして、何かの機会でご検討いただきたい。

(2) その他

- 意見なし